

人生100年超時代…力結集しリーディング大学へ

理事長室から

木下 統晴



新年おめでとうございます。スペイン風邪以来のパンデミック、そのインパクトを新時代に活かすよう大胆に取り組み、その一步を踏み出す年にしていきたいと思います。

子供の頃、遠い昔と思っていた100年、曾祖父が1877年に西郷さんの行軍を見、祖父は1900年義和団事件の年生まれ、母は1925年、自分は1949年生まれ、身近な人を見れば100年は短いです。

若い人達の最大の財産である「時間」をいかに充実させ、毎日を有益に使えるかだと思います。

保健（健康）を科学する本学は、人の幸せに貢献する人材をしっかりと育てるという高邁な仕事に取り組んできました。

生まれた時から小中高を経て、大学に入り、人の健康に寄与することの喜び、社会人としての充実した人

生をおくるための揺籃となる大学、そして、医療人として卒業後も学び、研鑽する一貫した取り組む喜びを生涯続けて欲しいですね。運動、食、そして面白く、好奇心を持つ知的習慣と予防する医療科学、そして先端医療への取り組みの二方向がこれから人生100年超の時代を充実したものにすると考えています。

皆さんの力を結集することにより、当該分野ではどこにも負けない日本一のリーディング大学への一步を踏み出しています。11月5日に週刊としたこのNEWSLETTERはその一助となる重要なツールです。皆さんの発信を通じて、より高みを目指しましょう。

イノベーションは、皆さんの力を総合することで生まれます。古くからの諺、三人よれば文殊の知恵です。

「健康」の構造（生物心理社会モデル）



Engel (1977) "The Need for a New Medical Model: A Challenge for Biomedicine" を基に作成

健康とは？

(WHO憲章 前文より)

肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態、単に疾病 病弱が存在しないということではない。

仕事納め コロナ禍の1年振り返り 誓い新たに 仕事始め

年末年始の休みを挟んで、仕事納め式と仕事始め式がそれぞれ50周年記念館で行われました。12月27日（月）にあった仕事納め式では、永年勤続表彰者（10年）10人が紹介された後、竹屋元裕学長があいさつに立ちました。竹屋学長は、新型コロナへの対応や新キャンパステラスのオープン、PT増員の認可といった2021年の主な出来事を振り返った上で、「来年も教職員一丸となって課題に取り組みましょう」と力強く締めました。一方、年明けの1月4日（火）に開かれた仕事始め式では、木下統晴理事長が「力

を合わせ、『その分野では負けない』という、日本一の魅力あふれる大学をめざしましょう」と訴えました。

永年勤続表彰者は次の通り（敬称略）。

古閑公治、山本隆敏（以上医学検査学科）、戸渡洋子、太田光紀（以上看護学科）、久保高明、岩下佳弘（以上リハビリテーション学科理学療法専攻）、安田大典（同生活機能療法学専攻）、宮本恵美（同言語聴覚学専攻）、水本豪（共通教育センター）、福留リサ（総務課）



自分らしく学べる大学生活めざして

助産別科の5人 性的少数者への理解訴える

12月21日（火）、「第50回 私の部屋でランチを」がキャンパステラスで開催されました。今回は助産別科の5人の学生を演者に迎え「すべての人が自分らしく学べる大学生活をめざして」と題して、講演と意見交換が行われました。37人が参加。

学生たちは、日本人全体の1割近くを占めるとも言われている性的少数者が直面する問題をロールプレイ形式で説明。人が自己の性的指向をカミング・アウトした時、そのことを「一緒に笑う」人の割合はおよそ3割にもものぼり、このことが性的少数者を苦しめてい

ると指摘しました。また、性的指向を本人の許可なく他人に暴露するアウトティングに対して、性的少数者を支援する「アライ」と呼ばれる人たちの存在や性的少数者であるというカミング・アウトを受け入れる意思表示である「レインボーカラー」も紹介しました。

最後に「私たちにできること」について聞かれた学生は「アウトティングが深く考えずに行われている。アウトティングをしている人に『言わない方がいいよ』と言ってあげられるといい」と答え、身近なところから一歩を踏み出すこ

との大切さを訴えました。
(安部悠介)



講演を終えた5人の学生たち

窯にピザを入れる山崎部長



薬草園にピザ窯完成

アリーナ東側のコミュニティガーデンにある薬草園内にピザ窯が完成しました。アクティビティクラブの部員たちの手によるもので、12月22日（水）、早速、ピザを焼いて完成を祝いました。

同クラブは、各種施設に赴いてボランティア活動を続けてきましたが、コロナ禍により施設訪問ができなくなったことから、学内でもできる活動を模索する中でピザ窯の製作を計画。図面引きから材料調達、セメントやモルタル練りなど、全ての工程を部員たちが手掛け、計画から5ヵ月で完成させました。

同日は15人ほどの部員が集まり、山崎友哉部長（リハ学科OT専攻3年）の指示を受けながら生地にトマトソースや野菜、チーズが盛りつけられ、初めてのピザを焼き上げました。顧問の爲近岳夫講師は「ピザ窯はアクティビティクラブだけでなく、OT専攻の授業やスモールグループなどでも活用してもらいたい」と話していました。

多彩な企画でリーダーシップ伸ばせ！

本学では、リーダーシップ選抜と位置づけている総合型選抜で入学した学生に対して、高校までに培ったリーダーシップを伸ばしていくために、ダイバースリーダー創発プログラム（通称：Dive! LSP）を実施しています。

総合型選抜学生に “創発プログラム”

今年度前半は、エゴグラムやマインドマップ、竹屋学長によるトップ講話等を通して、一人ひとりがリーダー像について考えました。後半には、4つのグループに分かれ、ワークショップを通して講演会を企画。12月20日（月）にその企画案をコンペ形式で発表しました。竹屋学長、渡辺学部長、各学科長による審査の結果、チーム“Smile☺”の企画が最優秀賞に選出されました。

今後は、選出された企画をDive! LSPのメンバー全員でブラッシュアップし、来年度にはその講演会を実現させていく予定です。（大学事務局・河瀬晴夫）



図書館だより

4Kカメラ活躍中！

図書館では、キャンパステラス移転時に購入した4Kカメラと4Kモニターで『私の部屋でランチを』や『サイエンスカフェ』を撮影、中継しています＝写真。初めの頃は、山鹿先生にお世話になっていましたが、最近は館員で運用しています。また、先生方にも授業等で利用していただいています。利用方法等、詳細は図書館までお尋ねください。（図書館）



銀杏アラカルト

◆ST国家試験対策冬期講座 言語聴覚学専攻では、4年生への国家試験対策の一環として、毎年、クリスマス直前から「冬期講座」を行っています。令和3年度は、12月20日から27日の1週間で、23コマを実施しました。成績不振者以外は自由参加にしているのですが、43人の在校生全員に加え、既卒生4人も受講しました。多くの学生が目の色を変えて真剣に取り組んで

くれており、私たち教員も全力でバックアップしていきたいと思っています。

年が明け、国家試験まであと1ヶ月半です。学生の皆さんは体調に気をつけながら、今まで整えた勉強リズムを崩さないで、最後の追い込みに入りましょう。すべての教員および職員が学生全員の合格を祈願しています。

（言語聴覚学専攻・池寄寛人、兒玉成博）